

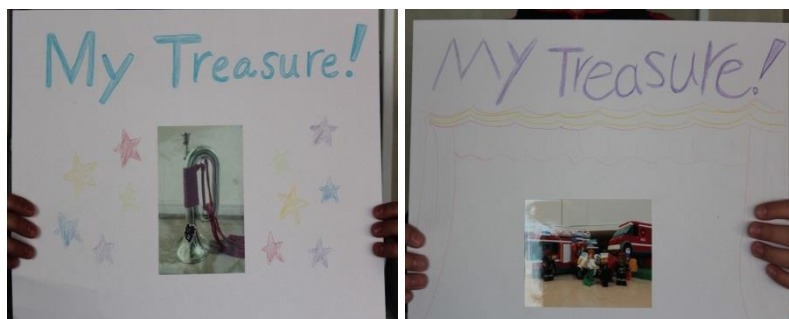
篠原小学校 外国語活動報告

(1) 活動内容

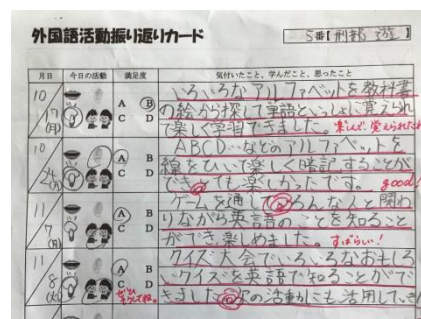
○ 5年生 What's this? 「宝物を紹介しよう。」 全4時間

時	活動内容
1	○ 学級担任やALTの宝物の写真を紹介するカードを見て、それが何かを当てる活動をする。また、単元の最後には、自分たちも宝物紹介カードを作り、クイズ大会をすることを知り、単元の見通しをもつ。
2	○ 身の回りの様々なものの言い方を知り、慣れ親しむとともに、言葉の面白さに気付く。 <ul style="list-style-type: none"> ・ キーワードゲーム ・ ミッシングゲーム
3	○ ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 <ul style="list-style-type: none"> ・ チャンツ ・ ブラックボックスゲーム ・ 背中の絵は何?ゲーム
4	○ 宝物紹介カードをつくり、お互いにそれが何なのか尋ねたり答えたりする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ チャンツ ・ スリーヒントクイズ

※毎時間の終末には、振り返りカードを記述させる。



<宝物紹介カード>



<振り返りカード>

成果

- ・ 自分の宝物を紹介するという課題を設定したため、学習を自分のこととして捉えることができていた。また、友達の宝物が何なのかを知りたいという気持ちが、コミュニケーションを図ろうとする意欲を高め、積極的に相手と交流するきっかけへとつながっていた。
- ・ 単語を使ったゲームや、チャンツを活用することで、自然な形で単語や文をインプットできていた。
- ・ 毎時間の振り返りを記述させることで、学習の積み重ねを子供自身が実感していた。

課題

- ・ ゲームの中で身の回りのものの言い方を表す単語を学習したが、それが宝物につながる子はかなり少なく、第4時で生かせなかった。単元で扱う単語の精選が必要だった。
- ・ ALTが授業に入る日は、ほとんどALTに任せる形になってしまっている。ALTと学級担任が連携を図り、協力し合いながら授業を進めていくことが今後の課題であると考える。